

「中丹“絆”フェスタ」で酪農をPR

11月13日、舞鶴市赤れんがパークで“家族や地域の絆を深め地域の元気づくり”をテーマに「海・森の京都 中丹“絆”フェスタ～「もうひとつの京都」」が開催され、9,600人の来場者で賑わいました。

当センターは府政PRコーナーで、乳牛の一生や牛のからだの説明、乳牛の等身大タペストリーの展示、リーフレットの配布など酪農への理解を醸成する活動を行いました。

また、牛乳パックを再利用した野球帽やスマートフォン立て作りのコーナーでは、40組100名の親子連れが途切れることなく訪れ、上手にできるたびに子供たちの笑顔と歓声があき起こるなど大盛況でした。



開場前の当センターの展示ブース



工作に熱中する子供たち